

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成 ～自分を大切にしよう、仲間を大切にしよう～

大杉だより

No. 12 3月26日号

山口市立平川中学校
山口市黒川1231-1
tel. 924-7700
fax. 924-7706
mail: hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
HP: <https://fa.fureai-cloud.jp/hira-j/>

ホームページには行事予定などのお知らせを載せていますので、ぜひ、ご覧ください。

校歌に思いを寄せて

校長 横 沼 潤 一

3月8日（金）に、第34回卒業証書授与式を執り行いました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで、4年ぶりに在校生も体育館に入り、ご来賓や保護者も併せた多くの人が見守る中で、卒業生一人ひとりが立派に卒業証書を手に入れました。入学以来、コロナ禍の中であっても生徒会を中心に様々な工夫をしながら、一生懸命に学習や経験を重ねてきた3年生の姿は、キラキラと瞬く満天の星空のごとく輝いていて、まさに「星瞬（せいしゅん）」。私は式の途中で何度も目頭が熱くなりました。そんな3年生の姿に対して後輩たちは憧れを抱き、これからの中学校生活に向けてさらなる自覚と決意を抱いてくれたことでしょ。

全校生徒が卒業式で最後に歌った本校の校歌は、山口市出身の郷土文学研究家で詩人の和田 健（たけし）先生が作詞を、作成当時山口大学教育学部附属山口中学校副校長であられた田中健二先生が作曲をされ、本校が開校した平成2年9月に完成しました。

完成当時のPTA広報誌「大杉（第2号）」には、両先生へのインタビュー記事が掲載されていて、その中で和田先生が、歌詞に込められた思いを、次のように話されています。

（平川地区の印象は）学校を中心に発展するのびのびとしたところ（中略）。北に鳳翔山と榎野川、東に姫山を望む素晴らしい環境の中で、立派に育ち、巣立っていくことを信じています。（中略）生徒たちが、歌いながら連帯感や社会性を感じてくれるように、心をくだいたつもりです。

また、一番の歌詞にある「己（おの）がじし精神（こころ）を磨き、誇らかに道を歩まん」には、「自分のこころの世界を大事に、自信をもって生きてほしい」という願いが込められているといったお話も掲載されていました。

『この平川の地で育ち、本校で学んできたことを誇りに、これから先の一步一步を、大きく前に踏み出してください。胸を張って、腕を振って、前をしっかりと見て進みなさい。』

私が式辞の中で卒業生に送ったこの言葉に込めた思いは、平成25年に98歳で亡くなられた和田先生が、この校歌を歌い継いできた五千人を超える本校の卒業生、さらには今後この平川中学校で学び、巣立ちゆく生徒たちに送るメッセージでもあるのです。一人ひとりがそれぞれの人生の道を力強く歩む姿を思い描きながら、末永く口ずさんでほしいと願っています。

卒業式を終えた翌週、3月13日（水）には2年生が立志式を行い、一人ひとりが「志宣言」を保護者や1年生の前で力強く発表しました。また、学年合唱をとおして、2年生全体のまとまりとエネルギーの大きさを肌で感じました。凜とした2年生の姿に、多くの1年生は心を動かされ、すでに「憧れの連鎖」が始まっています。来年度、平川中学校のさらなる成長・発展に向けて、教職員一同、保護者の方々や地域の皆様とともに力を注いで参る所存です。

今年度、保護者や地域の方々には、本校教育を多方面から支えていただきましたことに今一度心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第34回卒業証書授与式

3月8日（金）に、第34回卒業証書授与式が挙行されました。110名の卒業生が平川中学校を巣立ちました。横沼校長から生徒全員に卒業証書が手渡されました。在校生を代表して青島さんが送辞を、卒業生を代表して國本君が答辞を述べました。

在校生・卒業生ともに立派な態度で式に臨みました。ご来賓の方々からは、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

卒業生のこれからの活躍を大いに期待したいと思います。



1年職業講話

3月4日（月）に、1年生が地域の方から働くことについての話を聞く、「職業講話」を行いました。講師の方を控室からお連れしたり、会の司会進行をしたり、お礼の言葉を言ったり、と1年生が8つの講座でしっかり活躍しました。将来の職業について参考になる話をたくさん聞かせていただき、有意義な時間となりました。



2年立志式

3月13日（水）に、2年生が立志式を行いました。一人ひとりがステージに立ち「志宣言」を力強く述べました。その後、学年合唱「あなたへ」を披露しました。最後に記念講演として、吉永達哉様にお話をいただきました。

一人ひとりが志を立てた2年生が、自らの夢と目標に向けて、これからさらに成長していくことと思います。



今年度もいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。
来年度もよろしくお願いします。

